

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記当院の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象となる方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合にはご連絡いただければ研究対象としません。

記

研究機関名	地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
整理番号	25-556
研究の名称	気胸、術後肺気腫および有癭性膿胸に対する気管支鏡下 Endobronchial Watanabe Spigot (EWS) 留置術におけるデジタル胸腔ドレナージ (トパーズ®) 使用の有用性に関する後ろ向き観察研究
総研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2027年 12月 31日
試料・情報の利用を開始する予定日	2026年 2月 24日
研究の対象	2014年3月から2026年1月までの間に、当院において、気胸、術後肺気腫または有癭性膿胸に対して、気管支鏡下に Endobronchial Watanabe Spigot (EWS) 留置術を受けられた方
研究の目的	気胸、術後肺気腫および有癭性膿胸に対して行われる気管支鏡下 EWS 留置術において、 空気漏出量を定量的に評価できるデジタル胸腔ドレナージ (トパーズ®) を使用した場合と、従来の方法を使用した場合とを比較し、 手技の効率や治療経過、安全性について明らかにすることを目的としています。
研究の方法	本研究は、過去の診療録を用いた後ろ向き観察研究です。 対象となる方の診療記録から必要な情報を収集し、EWS 留置術施行時にトパーズ®を使用した群と使用しなかった群の間で、手技内容や治療経過を比較検討します。 新たな検査や治療を追加することはありません。
研究に用いる試料・情報の種類	試料：ありません。 情報：電子カルテに記載されている診療記録、年齢、性別、病名、基礎疾患、EWS 留置術の内容 (手技時間、留置回数・サイズ等)、 空気漏出の経過、胸腔ドレーン留置期間、再処置の有無、 有害事象の発生状況、入退院日、転帰 等

個人情報の取扱い	患者さんを直接特定できる氏名や住所等の個人情報は、利用する情報から削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
お問い合わせ先	<当院の連絡先> 地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター 所属：呼吸器内科 研究責任者：中野 仁夫 住所：大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号 TEL：072-272-1199(代表)

作成日：西暦 2026 年 1 月 11 日 ( 1 版)